

かじや知宏 議員報告



<生年月日>昭和43年9月12日 <年齢>44歳 <出身地>大阪府枚方市 <趣味>読書、スポーツ観戦、神社仏閣巡り <血液型>O型
<経歴>阪保育所→殿山第二小→枚方三中→牧野高→龍谷大→報知新聞社(11年)→枚方市広報課(3年3ヶ月)→行政書士

<市役所>〒573-8666 枚方市大垣内町2-1-20 電話072-841-1221代

<自宅>〒573-0171 枚方市北山1-23-57 電話090-3705-9393

Eメール tomohiro@t-kajiya.com

かじや知宏のホームページ
<http://www.t-kajiya.com>

総合文化施設 文化限定の施設ではなく、より多くの市民が利用できる複合施設を

枚方市議会の第3回定例会(9月議会)が9月11日~26日に開かれました。議会初日に可決した一般会計補正予算(総額10億1195万円)の中には、総合文化施設の整備計画策定業務委託料の約1200万円も含まれており、今後、市は新町地区での総合文化施設の整備に向け、計画策定を進めていくことになりました。



<解説>現在、枚方市では、建設から40年以上が経過し、老朽化している市民会館大ホールの代替え施設として、約160億円(用地取得費含む)の事業費をかけて新町エリアに総合文化施設の整備を進めようとしています。その一方で、現在の市民会館大ホール・本館については、耐震性を満たしていないとの理由で、約1億2000万円をかけて耐震補強などの改修工事を実施することになっています。この改修工事により、物理的には10年以上の耐用年数が確保されるそうです。現在使用中の施設を耐震補強改修することは、安全性確保の面から理解できますが、すぐに新しい施設を建設し、1億2000万円をかけて改修した施設をたった数年で取り壊すことになれば、市民感覚からしてムダ遣いと印象は拭えません。

枚方市では8月の豪雨時の浸水でも分かるように、災害対策の基盤整備がまだ十分とは言えません。また、築50年以上が経過した現市庁舎についても防災拠点としての機能に疑問の声があり、建替えを検討する時期にきています。その他多くのインフラについても老朽化が進み、今後その維持・更新には多額の費用が必要となってきます。安心・安全に暮らすための基盤整備が十分でない中、市が文化・芸術の拠点整備を優先することについては疑問を感じざるを得ません。しかし、それでも市が整備を進めると言うのであれば、一部の限られた人が利用する施設ではなく、より多くの市民が利用できる施設にすることが大前提です。現市民会館を今後10年程度使用することはもちろん、施設整備に当たっては民間活力導入の検討や誘致交渉を積極的に行うとともに、文化限定の単体施設ではなく、市庁舎や民間施設などとの複合施設として整備を進めていくよう求めています。

時代に合わなくなった政治・行政の仕組みを改革するため

「税金の流れの透明化」「ムダの排除」「既得権の見直し」に全力で取り組みます

私の議員活動の詳細については「かじや知宏のホームページ」をご覧ください

詳しくは **かじや知宏** で **検索**

Twitter twitter.com/kajiya_tomohiro

Facebook www.facebook.com/tomohiro.kajiya

「ツイッター」「フェイスブック」でもページを開設しています。

携帯電話からブログをご覧になれます→

